



# 南魚沼市

## 9月定例会

3日～19日 傍聴者 57人(延べ)

# 議会だより

No. 36

2013年11月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 阿部 久夫  
●編 集：議会広報編集特別委員会

10/13

## 南魚沼市消防団秋季連合消防演習



議事録等 詳細は…

南魚沼市議会

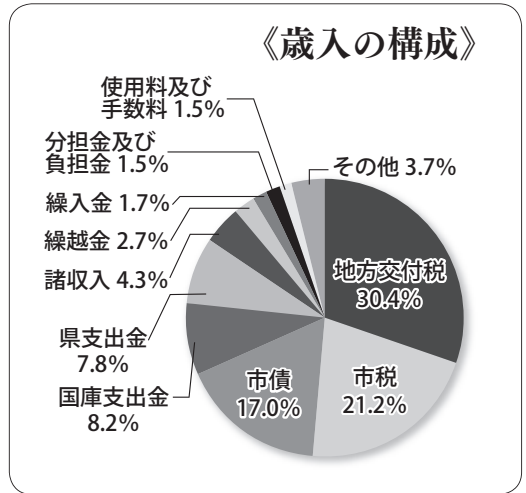
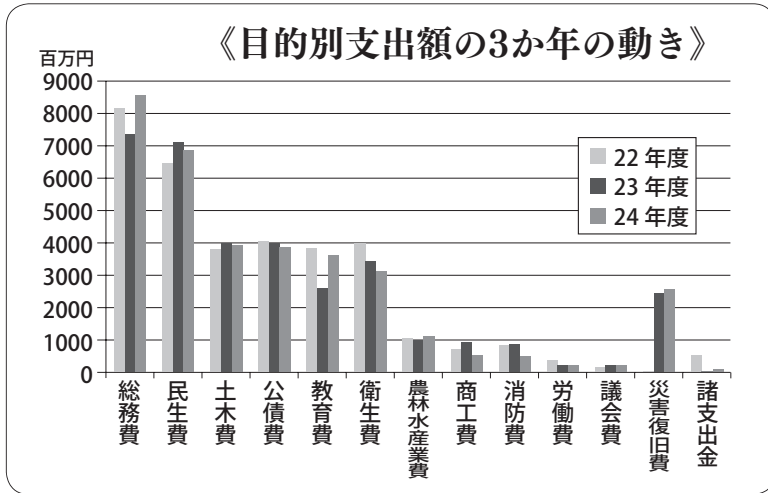
検索

一般会計決算認定の概要・一般会計補正予算の概要	2	頁
一般会計決算審査質疑応答・討論	3～4	頁
市長所信表明	5	頁
一般質問	5～15	頁
「南魚沼市コシヒカリの普及促進に関する条例」制定	16	頁
地域医療対策調査特別委員会報告	16	頁
各常任委員会 管内&先進地 調査報告	17～19	頁
9月議会の全議決結果	20～21	頁
南魚沼市議会議員選挙 当選者一覧・新潟県市議会議長会を開催しました	22	頁

# 平成24年度 一般会計決算を認定

## 歳入360億1,685万円 歳出350億1,609万円

採択の結果 【賛成者23人、反対者2人】



(※一般会計、特別会計、企業会計の決算内容の詳細は、市報 10/1 号をご覧ください。)

### 24年度の主な事業

- 観光交流拠点整備事業・道の駅南魚沼建設
- 個人住宅リフォーム補助事業
- 消防庁舎新築
- 数神小学校大規模改修・六日町中学校体育館耐震工事・塩沢中学校グラウンド改修 ほか、小中学校改修・整備
- 豪雨災害復旧工事
- 市立総合支援学校建設
- 大原運動公園整備事業
- 図書館建設事業
- 総合的保健医療体制整備事業

## 平成25年度 一般会計補正予算 (第2号)

補正額6億5,663万円追加、総額318億2,006万円に (万円未満切捨)

採択の結果 【賛成者25人、反対者0人】

### 第2号補正予算による主要事業

合併振興基金積立金	1億4,569万円
道路新設改良事業	3,350万円
図書館管理運営費	4,965万円
圧雪車購入費	2,709万円
災害復旧応急復旧費	3,200万円
豪雨災害農林施設復旧費	7,235万円



# 決算質疑

(抜粋)

## 大綱・歳入

〔質疑〕

地方債の残高は28億円の増で409億円となったが、災害復旧費がその大きな原因である。将来世代の負担を考えると、この数値をどう総括するか。

〔答弁〕

合併振興基金への積み立てと、災害復旧債がほとんどなので後年度に影響が出てくることはない。財政健全化は計画どおり進んでいる。

〔質疑〕

入湯税の不能欠損額が大きいが、利用者から預かった入湯税という性質上、他と同じ考えで不能欠損していいのか。

〔質疑〕

法人税が昨年比5、500万円増になっているが、高額納税の業種はなにか。

〔答弁〕

納税法人数は2,111社で、製造業が2,200万円増で1番伸びている。サービス業が1,500万円、建設業が1,200万円と続いている。

## 歳出

### 総務費

〔質疑〕

女性管理職の登用により、女性職員の行動やモチベーションが違ってくると思うが考えは。

〔答弁〕

女性管理職の芽を育てるべく、若い人を係長等へ登用している。

〔質疑〕

24年度から職員採用の社会人枠を設けるといふことだったが、どうなったか。

〔答弁〕

120名の応募があり、採用が男性2名、女性2名であった。

〔質疑〕

確定申告の相談会場を市民会館に変更したが、申告状況はどうだったか。

〔答弁〕

相談数は今までとほぼ同数だった。大和・塩沢市民センターで3日間相談会も行ったが、アンケートでは、ほとんどが良かったという結果だった。

〔質疑〕

〔答弁〕

魚沼荘改築のコンセプトは。どういうコンセプトだったか。メンテナンスの面から木造の考えはなかったか。

〔答弁〕

利用者が満足する施設、個室化で考えた。構造指しはしなかったが、木造も1社あった。

〔質疑〕

民生児童委員には2、910件もの相談がある。引継マニュアルもないがこの実績をどう見るか。

〔答弁〕

民生児童委員には2、910件もの相談がある。引継マニュアルもないがこの実績をどう見るか。

〔答弁〕

民生児童委員の仕事が多種多様であり、平準化も考えなくては思っている。

〔質疑〕

〔答弁〕

地盤沈下の状況はどうか。対策を24年度中に調査し結論を出すことになってきたがどうなったか。

〔答弁〕

豪雪で、シーズンを通して降雪があり、北辰小近くで2cm以上沈下した。地下水汲み上げによる影響かどうかは不明だが、沈下は鈍化している。

対策は水道水を利用した融雪を含めて考えていた。加温装置の見直しがつき、今冬もう一度検討したい。

〔質疑〕

〔答弁〕

不燃ごみ処理業務委託費に障がい者雇用も含まれているが、雇用分の費用がどのくらいだったか。

〔答弁〕

不燃ごみ処理業務委託費に障がい者雇用も含まれているが、雇用分の費用がどのくらいだったか。

〔答弁〕

障がい者雇用分は、総額で533万円だった。

〔質疑〕

〔答弁〕

ペレットストーブの普及がなかなか進まない。市民の認知度はどうか。

〔答弁〕

灯油の値上がりもあり、経費的には遜色はなくなってきた。補助金の見直しを含めPRをしていきたい。

〔質疑〕

〔答弁〕

上の原にあるFIVB体育館の使用実績はどうだったか。

〔答弁〕

NPOが不調でなかなか具体的な改善策がない。今年度改善策が出て来なければ契約を打ち切る。使用料は猶予しているが、打ち切れば請求していく。

NPOが不調でなかなか具体的な改善策がない。今年度改善策が出て来なければ契約を打ち切る。使用料は猶予しているが、打ち切れば請求していく。



## 土木費

【質疑】

累積降雪量はどの程度だったか。また春先除雪の費用はどのくらいだったか。

【答弁】

本庁舎13・7m、大和庁舎14・1m、塩沢庁舎12・7mだった。25年4月での春先除雪は約1億2千万円だった。

【質疑】

国土調査事業が3、700万円程度だが、十日町市で1億5千万円と、他市はもっと予算をつけて進めている。今後どう進めるか。

【答弁】

現状の人員ではこの予算を執行するのが限界で、二項委託とすることも業者がない。業者を育てることも含めて進めていきたい。

## 消防費

【質疑】

F Mゆきぐにの緊急時割り込み放送のタイミングと判断は、どう決めるのか。

【答弁】

河川の水位にはレベルが1から4まである。今回は、最終的な水位レベルに大きな上昇が予想されなかったため、避難準備情報として出した。

【質疑】

水害がおきやすい地域は予測できるので、近くに倉庫を建てて水害用の土のう袋と砂は置くべきでないか。

【答弁】

土のう袋は消防団で備えているが、砂の置き場

を含め、対応できるところはしていきたい。

## 教育費

【質疑】

郷土史編さんが予算どおりには進んでいないが、今後のスケジュールは。

【答弁】

執筆者が多忙で、高齢でもありなかなか進まないが、六日町史については資料編の1巻と通史編の2巻を今年度中に発刊したい。大和町史については27年度に下巻を刊行したいが、できるだけ急ぐ。

【質疑】

地デジ化の関連で、小中学校の教室にテレビを置かなくなったが、授業運営上支障はないか。

【答弁】

各教室にはないが、移動できるテレビにDVD等をつけ、効果的に活用できている。

## 原案反対（日本共産党議員団）

大原運動公園、図書館建設には問題を残し、予算の修正動議もあった。将来に大きな負担を残し、公債費は増え経常収支比率は硬直化している。努力は見えるが、市民の負担軽減にまわすべきだ。

## 原案賛成（市政クラブ）

決算規模が大きくなる中で、財政規律を守り将来の負担を減らすという決意が感じられた。合併当初と比較すると、公債費も減り実質債務残高も減っている。財政再建に取り組んだことで災害対応もできた。諸々含んで将来の更なる改善を望み賛成。

## 原案賛成（歩む会）

今泉記念館に道の駅がオープンした。総合支援学校の準備が進められ、喜んでいる人たちがいる。災害復旧もスムーズに進むよう願って賛成。

## 原案賛成（南魚みらいクラブ）

合併から8年、大型のまちづくりを進め、豪雪・豪雨災害に見舞われた中、実質公債費比率の改善の対応は特筆すべきと思う。財政の建て直しと大型投資による魅力あるまちづくりを、大災害の復旧を進めながらやり遂げたことは評価できる。

## 原案賛成（市民クラブ）

予算時点で修正案を出したが、議会議決の結果を重く受け止め、決算はその予算の適切な執行という観点で審議すべき。自主財源比率は多少下がったが、公債費の減、子育て支援、新病院建設に向けた動き等評価する。

# 討論

## 平成24年度一般会計決算



■保健・医療・福祉

子どもの医療費助成は、「18歳以下の3人以上の子どもがいる世帯のみ中学卒業まで」を対象としておりましたが、9月1日から県単事業が拡充されたことを受け、「すべての子どもについて中学卒業まで」に拡大いたしました。

■教育・文化

市立総合支援学校の高等部3年生の生徒が、念願の介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)の資格を取得することができました。また、子ども達は寄贈いただきましたグラランドピアノを使い、大好きな歌や踊りを楽しみ、コンサートも開催するなど、充実した学校生活を送っております。

■環境共生

交通安全対策では、各団体、企業の後援のもとに、歩行者(子ども、大人、高齢者)と

■都市基盤

運転者(自転車、乗用車、大型車)という6つの視点により市民の皆様からアンケート調査にご協力をいただき、ヒヤリとした、又はハットした体験をマップ化した「ヒヤリハットマップ」が完成し、各小中学校や行政区に配布するとともにウェブサイトでも公開いたしました。この啓発事業により交通事故の減少に寄与できることを期待するものであります。

市の公共土木工事の社会

■産業振興

今年、良質米の生産回復に農業関係者一同で取り組んでおります。今後も気象変動に即した稲作指導の徹底に努め、「安全・安心」で「高品質・良食味」の南魚沼産米の生産

に向け、取り組みを進めてまいります。

■行財政改革・市民参画

官民連携として昨年5月にプリンスホテルとの連携協定を締結しましたが、国際大学を系列化した明治大学とも産学官の連携事業を進めることとなりました。このほか、長岡技術科学大学などとの連携も調整が進められており、グローバル化が進む時代に対応した体制づくりを、地域の特性を最大限に活用しながら進めてまいります。

「ラ・ラ」第三セクター  
解消できるか

答 役員就任はしない

岡村雅夫 議員



六日町街づくり会社の基本方針に「第三セクターの意義を持ち続け市との連携を密にとる」「市への駐車場賃貸による資

産の有効活用」とある。

「役員を引き揚げ、今後市とのかわりを無くすよう取締役会で確約を取り付ける」と交わした確

認書と矛盾する。

市長

破産や清算の方法はとるべきでない。収支計画は県と機構が認めた。経営刷新で十分やっていく。3億円の出資の引き

揚げは考えていない。平成27年の任期満了後は役員就任しない。経営を監

視する必要があるので監視役は出す。

岡村

図書館運営で街づくり会社へ支払う費用の想定

市長

共益費と借地料で1、200万円位になる。電気・ガス・上下水道代は別に実額を払う。

岡村

図書館建設で街づくり会社の負担はあるか。至れり尽くせりでないか。

外装工事は専有面積割の負担が必要だ。

市長

図書館としての景観を整えるため、負担は求めない。外装工事、700万円は市が負担す

る。維持管理費は割合に応じた負担をせらう。ただ、景観上のルーバーは疑義があり割合を見直す。



ショッピングセンター ラ・ラ

## 今こそ行政区の合併・統合を

**答** 重い提言である。今後の  
市政の中で生かす



若井達男議員

南魚沼市が誕生して来  
年で10周年を迎える。旧  
三町の合併時63,329  
人の人口も、今現在(8  
月末)60,256人に

なった。そうした中、世  
帯数一桁台が7行政区、  
15世帯以下が10行政区と  
なっている。多年度にわ  
たる区長職と高齢化、消  
防団活動、婦人会活動、  
老人クラブ、子ども会等  
さまざまな問題が生じて  
いる。今こそ行政区の合  
併・統合が必要な時であ  
る。南魚沼市の発展に希  
望のもてる行政区を。

**市長**

行政区数は合併以来変  
わっていない。安定した  
組織である。非常に厳し  
い状況は認識しており、  
このような状況を憂慮し  
ている。

集落の統合については、  
何よりもそこに住む皆さ  
んの考えを尊重しなけれ  
ばならない。調査等は可  
能だが、今すぐに合併・  
統合という状況にはない。  
限界集落的なことも出て  
くるかもしれないが、今

すぐ解決する妙案はない。  
提言を契機として集落の  
あり方を基礎から見直す。  
今後の市政運営の中で生  
かしていく。



## 今泉記念館と道の駅の 問題点は

**答** 必要な改善はしてゆく



牧野 晶議員

道の駅「雪あかり」オ  
ーブンから1年が経過し  
問題点はないか。  
また屋外での催事のル  
ール策定はできたか。

**市長**

除雪や排水、夜間利用  
者のマナーの悪さなどの  
問題点がある。しかし、  
全体として評判は上々だ  
と考えている。

催事の出席については、  
指定管理者のJAしおざ  
わと協議をしている。  
JAしおざわは、PL  
保険やレジの関係、競合  
等の問題で、出荷協議会  
加入者の範囲で考えてい  
る。

**牧野**

① 出店者の手数料の見直  
しはどうなったのか。  
② イメージが悪くならな  
いようにメンテナンス  
をしっかりとすべき。  
③ 遊具を増やすべき。

**市長**

① 下げる方向で検討して  
いる。  
② 現場を確認して対応し  
ていく。利用者に不快・  
不便な思いがないよう  
にしていく。  
③ 利用状況を確認する。

## マーケティングに ついて

南魚沼市の発展にはマ  
ーケティングは大切だと  
思うが、どう考えている  
か。

**市長**

大切だと考えており、  
今後取り入れる方向で進  
めている。



道の駅雪あかり

## 学校教育で基礎学力と 胆力を育てよ

**答** 各学校で独自の取り組みを  
やっている



中沢 俊一 議員

世界の最貧国あるいは人種差別の長い歴史を持つ国など訪ねたが、我が子の充実した教育を願わぬ親はいない。以前、校

長先生が「南魚沼市は子どもも家庭も基礎学力、勉強の大切さをあまり認識していない」と発言していたと聞いた。わが市の基礎学力水準を伺ったうえで、以下3点につき見解を質す。

- ① 土曜授業の評価と対応
- ② 読書を習慣化するための新図書館の活用は。
- ③ 南魚沼版「元服の儀」として、例えば、中学2年生を対象とし、親子が一堂に会した中で

「勉強の本当の意味」を学ぶ。人間として生きる上での胆力を醸成する機会ともなる。

**教育長**

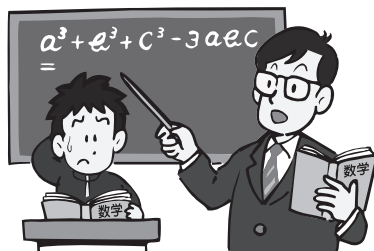
当市の学力水準は小中学校ともに、国・県よりもやや低い状況となっている。

- ① 今後の国・県の動向を注視していきたい。
- ② 塩沢小をモデル校として連携を進める。その後、他校にも広めていきたい。

③ 「志」の教育をキャリア

教育として各学校で独自の取り組みを行っている。提言は貴重な意見として受け取る。

胆力とは簡単に言えば「肝っ玉」と認識している。成功体験による自信と、失敗の経験が子どもを成長させる。



## 魚野川の河川環境は

**答** 水質検査では改善してきている



関 昭夫 議員

災害に対する安心安全と自然環境保全の両立についての見解は。

**市長** 県の河川整備計画に河

川環境の保全と整備について、計画高水流量を安全に流下させる必要断面の確保と、河道の連続性や水際の多様性に配慮した整備で環境に配慮することとしている。計画どおりにやってもらうように伝えていく。

三國川の濁りの問題は科学的には問題ないが、現に濁っており魚も少なくなっている。放水に工夫を行っているようだが、抜本的対策の要請を続け

ていく。

**関**

魚野川の水問題の具体的施策展望は。

**市長**

清津川に頼らない方策を検討することとして、対応方策を5点に絞ってきている。ダムやため池も入っているが、全ての水を清津川に返さなくても大丈夫ではないかとの考えもある。27年度には方向性をきちんと出すことになっている。河川環

境が悪化するようなことはさせない。

**関**

自然環境の目に見える評価で安心安全につなげる考えは。

**市長**

実際に見た目が綺麗で、魚がいて周辺に動植物がいる環境が一番良い。評価の見える化をどう表現すればいいか検討する。間違いなく進めていく。



魚野川

## 新図書館建設に併せ 学校図書館の環境整備を

**答** 新図書館司書を活用して  
進める



佐藤 剛 議員

子どもの読解力の低下が指摘をされている。そのため図書館建設や蔵書数の増は期待するが、それは改善の前提条件で

ある。図書館建設に併せ学校図書館も含めた全体の読書環境整備の取り組みが重要だ。

学校図書館の蔵書のデータベース化、ネットワーク化で学校の図書環境は飛躍的に改善するが取り組みは。

また、各学校の蔵書は、古く痛んだ本も多いため、計画的な廃棄、購入で有効な蔵書を増やす必要がある。

それら環境改善のため

に学校図書館司書の配置が必要でないか。

**教員長**

データベース化を進める。そうならば、ネットワーク化も可能と考えている。

適切な廃棄がされていない面はある。専属の学校図書館司書は困難だが、新図書館の司書で対応したい。

### 在宅医療で 地域医療を守れ

高齢化が進む地方ほど

在宅医療は必要となるが、

医師不足、介護施設が足りない地方ほど実は在宅医療の実現は難しい。

多機関、多職種連携によるチーム医療と在宅患者の情報共有がなければ在宅医療は機能しない。どう連携し実現するか。

**市長**

医師だけで在宅医療はできないので、地域ケア会議の立ち上げを検討している。

## 米価下落対策は

**答** 相対取引を推進し、売る努力を



小澤 実 議員

今年の米価仮渡金は16,700円で、昨年比2,300円の下落である。日本一の食味を誇る南魚沼米でも、米余り

により低米価が予想されるが、米戦略について市長の考えは。

**市長**

適地適作を要望し実需者、特に富裕層との結びつきを強化して宣伝する。40万人に食べてもらえば市内で生産される米は消費できる。

**小澤**

近年の集中豪雨で転作畑の集積、団地化で、水はけを良くすることが求められるが、人・農地プ

ランを徹底分析し対策を。

**市長**

団地化は転換期と捉え、土地の交換・排水対策等具体的問題を協議対応していく。

**小澤**

少量多品目の販売で農家の増収を図るため、市内に第二の道の駅構想はないか。

**市長**

市主導での道の駅は難しい。だがJAの直売所構想には支援しなければ

ならない。

### 市内拠点への防犯カメラの設置の考えは

防犯上、窃盗事件、交通事故の道路監視の観点から防犯カメラの設置の考えは。

**市長**

事件事故の抑止には役立つと思うが凶悪犯罪はわずかである。すぐ設置には至らないが警察とも相談していく。



工事が進む新図書館



## 指定管理者制度の 検証を

答 市民の利便性向上を目指して



山田 勝議員

市内施設について指定  
管理者制度を導入して7  
年になる。公共サービ  
スやコスト、市民との協働  
について検証すべき時で

ある。

- ① 導入の効果はどうであ  
ったか。
  - ② 個々の施設について設  
置目的や管理運用、総  
経費など客観的に把握  
された「公共施設の配  
置計画」が策定されて  
いなければならないが、
  - ③ 市民に対して指定管理  
導入の可否についての  
判断基準、導入後の評  
価基準を示すべきだが、
  - ④ 指定管理者制度導入の  
際の影響やメリットを
- 説明し、市民の声を聞  
くべきだ。市民目線に  
たった行政改革、市民  
参加による協働のまち  
づくりを進めるため、  
共に情報を共有できる  
といった視点を持って  
進めるべきだ。

市長

- ① 保育現場や商工観光の  
場で役割を十分果たし  
効果が出ている。ディ  
スポーツでは利用率が  
伸び、経費は40%削減  
し、独自事業は405

%となっている。

- ② 現在施設の継続や廃止  
も含め検討中である。  
今後の課題だと認識し  
ている。
- ③ 個々特性があり部門分  
けをしても一様ではな  
い。時間がかかるが早  
急に進める。
- ④ 一部地元意見を聞かな  
かった部分に反省もあ  
るが、市民全体の利便  
性向上のため努めてい  
く。

## 産学官連携(ICOLOVE) で産業振興を

答 国際大学と連携し、密な  
起業支援を行う



腰越 晃議員

国際大学と南魚沼市と  
の産学官連携「地域新規  
事業コラボレーション・  
プログラム」について伺  
う。

① 「産」「学」「官」連携

の産業支援事業の成否  
は、「企業側が必要と  
している支援」を現場  
に適したカタチででき  
るかにかかっている。  
「学」「官」の側が、企  
業現場に密着して支援  
することが最も重要で  
ある。その具体的な方  
法について伺う。

② ASEAN諸国との交

流拡大という目的にと  
どまらず、産業界への  
水平的な展開による波  
及効果については、  
市長

市長

- ① 企業から挙げられた問  
題・ニーズに大学と学  
生がチームを組んで、  
市と連携する。出来る  
だけ密に企業と連絡を  
取り、細やかな支援を  
しながら対応する。
- ② 水平的な展開と波及効  
果については、本プロ  
グラムに賛同頂いた事  
業所の名称を本プロ  
ラムのウェブサイトに  
掲載するなど、広報・

PRを行う。

本プログラムに様々な  
要望を出してもらい、  
それを少しでも成果に  
つなげていければ、南  
魚沼市の産業界の発展、  
雇用拡大が図られるも  
のと期待している。  
市としては、企業と大  
学の間に入る仲人とし  
て、地道に泥臭くやつ  
ていきたい。



国際大学



ディスポート南魚沼

## 国保は命を守る最後のとりで

**答** 存続させる必要がある



岩野 松 議員

1961年に皆保険制度ができたが、84年改正から国庫負担が減り始め、国保そのものが危機的状況にある。加入者も、年

金生活者や非正規労働者などが7割になり、まさに弱者への命のとりでである。

①国保は、事業者負担がない。納入率も下落し、滞納者も減らない。安心して払える国保税にすべきだ。国庫補助を50%に戻すよう働きかけるべき。

②当市は2年法定外繰り入れを値上げ抑制のため決定したが、使わなかった。値下げのため

使うべきだった。

③医療費窓口払いの減免も昨年法制化されたが、市民に周知が足りない。

また、条件を生活保護の1.3倍まで緩和すべき。今のままでは大変な人の命は救えない。

①国へ要望するだけでは解決しない。構造的な改革・改正が必要。県を保険者にしようとし

続ける必要がある。

ているが、医療保険の一元化でもしないと根本的な解決は難しい。

②値上げを抑えるために繰り入れの議決をしてもらった。議決の重みを理解すれば値下げのために簡単に使えない。

③今後とも周知に努め、もう一度点検する。生活保護そのものを見直す動きもあり、一概に今何倍がいいとは言えない。



## 妊婦医療費助成を、申請の当月からに

**答** 取り組めるよう検討する



塩谷 寿雄 議員

当市が行っている助成の要綱では、妊娠した証明を添えて市に申請した翌月から助成が行われるとなっている。検査を受

け、妊娠をしていれば妊婦なので、申請当月からの助成にするべきだ。

**市長**

確かに当月からの助成を行っている市も県内はいくつかある。当市でも取り組めるよう、検討してみなければならぬ。

## 不妊治療費助成の拡充を

当市は県内においても不妊治療費の助成はトッ

のではないか。

**市長**

国で制度改正の動きがある。相対的に改正による弊害の無いよう、所得区分による拡充を含め、市の助成も検討しなければならぬ。



## 合併10周年の 記念事業計画は

**答** 広く市民からアイデアを募集したい



樋口和人議員

平成26年度は、南魚沼市が誕生して10周年となる。 「南魚沼市雪まつり」を皮切りに、10周年を祝

う事業を行っていくとの事だ。様々な事柄を乗り越えて、この10周年を迎える節目を市民こそ祝い、合併の意義を考え、今後の南魚沼市のことを考えていくのにもいい機会だと考えるが市長の見解は。

**市長**

現在計画をしているのは「南魚沼市雪まつり」のグレードアップと10月5日に記念式典の挙行である。その際、明治大学

の「マンドリンクラブ」から演奏をしてもらう。8月23日には、大原運動公園野球場にて東京六大学野球のオールスター戦を行う。あとは現在庁内各部署において検討中である。

そして市報やフェイスブック、市のウェブサイトを等々利用して早く多くの市民へ届けていきたい。合併後、今までは市の基礎固めの時期であったが、記念事業を飛躍の第一歩としたい。

雪まつり



## 自殺対策条例制定の 考えは

**答** 状況を把握、研究して方向性を定めたい



笛木 晶議員

国では9月10日から1週間を自殺予防週間とし、幅広い国民参加による啓発活動を強力に推進している。県でも9月を自殺

対策推進月間とし、自殺対策事業を集中的に実施している。直接市民に接する市が市民に働きかけ、相談や連携体制を定めることが必要ではないか。自殺対策条例を制定する考えはあるか。

**市長**

人口10万人当たりの自殺者数である自殺率において、当市は国や県の平均より高い。市では、平成20年度から県の補助事業を活用し、

自殺の要因となる精神的な疾患、特に「うつ」に対する理解や対応について知ってもらうために、専門医の講話やFMゆきぐにを利用した啓発、相談窓口の周知を図ってきた。

に深めたいと思っている。今すぐ条例制定するとは言えないが、制定した市もあるので、状況を把握しながら研究し、方向性を定めたい。

行政や事業所が連携することはもちろん、今後とも「うつ」への対応を進めるとともに、さまざまな観点からの研究を進め、地域における自殺についての知識の普及を更



## 六日町・浦佐バイパス 事業の早期完成を

**答** 一日も早い全線開通を目指したい



中沢一博 議員

六日町バイパス・浦佐バイパス周辺地域で病院の建設が進んでいる。救急救命道路としての役割は大きく、一日も早い整

備完成を目指すべきと考えるが、今後の方向性は

### 市長 教育現場の取り組みについて

六日町バイパスは新市立病院開院に向け、現在の県道平石西ノ裏線から病院前市道までの暫定供用を目指して進めている。その後、国道253号と県道十日町六日町線の間を実施する。浦佐バイパスは、平成26年度までに魚沼市の県道雷土新田浦佐線から国道291号までの供用開始を目指す。

① がん教育の大切さやがんとの向き合い方、がん患者に対する理解を深める教育が必要では。② 食物アレルギー対策は。③ 防災教育の推進を。

を前向きに検討して実施したい。  
② 入学時に学校医から診断書をもらい、保健調査票で管理している。食物アレルギー対応マニュアルを作り、対応している。  
③ 県教育委員会も教育の重点項目に防災教育の重要性を加え、防災教育プログラムを策定中だ。その動向を注視し、今後進める。

## ふるさととの森林を どう守り、育むか

**答** まずは作業道の整備を急ぐ



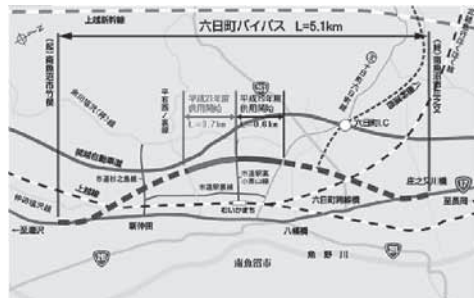
林 茂男 議員

森林荒廃はサルや獣被害の主因にもなり、2年前の豪雨災害でも特に手つかずの杉林の倒壊が顕著だった。森林再生は待

った無しの防衛問題だ。どう守り、育むか。国の代替エネルギー政策による「固定価格買取制度」でバイオマス発電が対象になった。間伐木材を燃料に、福島県の㈱グリーン発電会津が昨年からの稼働している。発電以上に魅力的なのは、木が売れることにより山の整備費用を生むことだ。植・育林が活性化し、雇用が生まれ担い手も育つ。この魚沼に火力発電所

を建設し、地元の里山をよみがえらせたい。発生する熱による温水化など、消費水利用への展望もある。ただし、会津と同規模の発電に必要な燃料材は年間8万トンで、当県の資源量では県内3か所が限度だといわれている。まさに今日の課題であり、市は他に遅れることなく主体性をもって対応すべきだ。

道の整備を促進し、森林の整備を図る。火力発電所については魚沼市と当市、共に市内事業者から事業化の話がある。しかし、用材供給量の確保がネックで、事業化には他材利用や魚沼圏外まで集材範囲の拡大を想定しなければならぬ。県の積極的な関与が必要だが、まだ主導性が見えない。我々から積極的に働きかけ、実現に向けて取り組んでいく。



六日町バイパス計画平面図

# 幸せの「道しるべ」 夢プランを作れ

**答** まずは雇用の場の確保に  
努める



寺口友彦 議員

全国住みよいまちラン  
キングを意識し、県下一  
住みよいまちを目指せ。

**市長**  
数値だけで比較しても、

住みよいまちとは言えな  
い。  
具体的な数値での比較  
は、足りないところを知  
る手がかりになる。来年  
で合併10周年だが、20周  
年に向けての施策の基本  
は幸せ度だ。市民の考え  
る幸せ度が何かを調査し、  
考えるべきだ。

**寺口**

子宮頸がん予防ワクチン  
接種は中止すべき

夢のワクチンと思っ  
ていたが、全国でその副反  
応が報告された。市内で  
副反応重篤者は出たか。

**市長**

昨年、中1の一人に左  
手指のしびれが出たが、  
即日回復している。

**寺口**

接種を積極的に勧めな

いというあやふやな説明  
は、市がするべきことか。  
全国被害者の会の告発で  
文科省も被害を調査して  
公表した。安全性が確認  
されるまで、国へ接種中  
止を求めるべき。

**市長**

説明は市の役目だが、  
最終的な責任は国がとる  
べきだ。後遺症治療の研  
究も進んでいるが、接種  
の安全性や国の動向を踏  
まえ、対応していく。

# 我々の意見をゴミ箱に 捨てていないか

**答** ゴミ箱に捨てることはない



鈴木 一 議員

私に国会議員ほどの能  
力、実力はない。行政経  
験豊富な市長・執行部と  
対等に組み合うのは至難  
の業だ。議員に行政経験

がほとんどない中、よく  
ぞここまでやってきたと  
いう思いもある。若くし  
て起業もした。我々には、  
数十年民間の厳しい中で  
生きてきた自負がある。

**市長**

職員が井の中の蛙となら  
ないよう、経験の中で意  
見や質問も行ってきた。

果たして、その意見と  
いうものがどう活かされ  
るのか、甚だ疑問に思う。

執行部の方々は議場や会  
議室を出たら、言われた  
ことをゴミ箱に捨ててい

ないか。4年間の総括と  
して何う。

**市長**

地方自治は二元代表制  
であり、片方の具合が悪  
くても行政は進まない。  
取り入れるべき意見は取  
り入れ、でき得る修正は  
しているつもりだ。決し  
てゴミ箱に捨てることは  
ない。

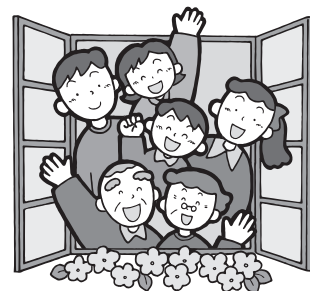
市立病院開院までの県立  
病院スタッフの意識は

基幹病院、市立病院の

開院まで2年を切ったが、  
県立病院スタッフのモチ  
ベーションが下がっては  
いないか。

**市長**

県立病院は、県民のた  
め良質な医療を提供する  
のが当然だ。新潟県病院  
局でも変革運動に取り組  
んでいる。市としても県  
立病院側にきちんと伝え  
ていく。



# 「義と愛の宣言」を策定し、児童・生徒に

今後、教育委員会で議論する



黒滝松男議員

来年は市制10年を迎える。また大河ドラマ「天地人」が放映され、5年となる節目の年である。これを機に、会津藩の

教え「<sup>じゅう</sup>仕の掟」の現代版

【教育長】

郷土の偉大なる先人

「上杉景勝公・直江兼続公」の義と愛の精神を子どもたちに伝えることは大切である。

市では、平成23年教育基本計画を策定し、目指す子ども像として「雪と愛につつまれ育つ南魚沼の子ども」を掲げ、育てたい5つの姿を設定、市政懇談会・PTA総会及び区長会等で説明してきた。

これを子どもたちにも解りやすくするか、また新たな「義と愛の宣言」を策定するかどうかは今後、教育委員会で議論していく。

育てたい5つの姿

- 一、正義を尊び、勇氣をもって行動する子ども
- 二、人や自然を慈しみ、生命を大切に育む子ども
- 三、夢を持ち、挑戦する子ども
- 四、健やかな心と体を持ち、たくましく生きる子ども
- 五、ふるさとに誇りを持ち、未来を創造する子ども

# 市内小中学生の英語教育の充実を

【答】教育は国家百年の大計と考える



桑原圭美議員

大河ドラマ「八重の桜」では新しい時代を開拓すべく若い世代、とりわけ女性たちが勉強したいという強い意志を描いてい

る。若者が目標に向かって学問に励む姿ほど清々しく希望に満ちたものはないと思う。当市の子どもの将来のためにも、国際大学を活かしながら国際科の授業を充実させるべきだ。

【教育長】

国際科の授業により、小学生は英語が楽しく充実しているという認識を持ちつつあり、中学生の海外派遣は6年目を迎えた。

国際大学修了式でのこと。修了生謝辞は、「東日本大震災直後に戸惑いながら来日したが、自分たちにとって特別で重要な絆、犠牲者への哀悼の念、復興への思いを生んだ。ここで学んだ知識を活かし、世界を良い方向へ導くリーダーになる」という感動的なスピーチだった。

小学生の国際科の授業の成果としては、99%の児童が楽しいと回答。

国際交流が大事だと考えるとの回答も98%であり、外国人とのコミュニケーションの成果が出ている。

国際大学は、英国のエコノミスト誌で高い評価を得ている。同大学を英語教育に活かしていきたい。



# 合併10年 市民の融和政策は

**答** 関係機関に働きかけていく

井上智明議員

南魚沼市が誕生して間もなく10年になる。順調な市政運営と評価している。ただ一点気になることが市民の融和政策だ。

市民融和のために公共的組織の合併や連携は欠かせないと思うが。

①農協、土地改良区、商工会等の合併は。

②観光協会、地域づくり協議会等をもっと連携を強めるべきでは。

**市長**

①農協、土地改良区、商工会それぞれにいろいろな問題があり、難しい。今後も各組織に働きかけをする。

②南魚沼市観光協会は法人化する。合併10周年を機にそれぞれの協会の協力関係を構築したい。地域づくり協議会の連合化については協議したい。

常態化する異常気象・災害への対応は

**市長**

現在は異常気象が常態化してきている。時間雨量100mmなどという雨が局地的に降る。気温も連日30度超えだ。またそのため災害が起きている。

災害への対応は。温暖化対策には化石燃料からの離脱が必要だ。南魚沼市の自然エネルギー政策は遅れているように感じているがどうか。

中小河川は未整備が多い。県に働きかけを行う。自然エネルギーの活用は、あるものを有効に活用する検討を進めなければならぬ。

# 水田農業の将来を 国際大学と共同研究を

**答** 40万俵を販売するために市が先頭になって取り組む

関 常幸議員

米環境が、将来今までは全く異なる事を認識し、南魚沼コシヒカリの新たな生産・販売・経営戦略をもたなくては産

地は無くなる。コメ問題で、市長は常に話す。当市で生産される40万俵は40万人に販売すればいいと。今こそ、これを実行に移す時ではないか。農家とJAと行政が一体となり、2年3年かけてでも具体的計画をつくる。そのことが農家の希望となり、更なる魚沼コシヒカリのグレイドアップに繋がり、他産地の追従を許さないことになる。

市では管内の中小企業のために、国際大学と提携して新たな取り組み「地域産業支援プログラム（ICLOVE）」を発足させた。

**市長**

南魚沼コシヒカリ生き残りのためにも「40万俵を40万人に販売する」の実現のために農家とJAと行政が一体となり、国際大学と共同研究（リサーチコラボレーション）で取り組むことが必要と思うが考えは。

40万俵を40万人に販売するために、市が先頭に立つて行う。議会の皆さん方も全面的にご協力いただきたい。JAが違ふとか、地域が違うとか、生産販売体制が違うなどを乗り越えて、完遂しなければならぬ。そのために国際大学と連携していく。



JAしおざわ



JA魚沼みなみ

# 「南魚沼市コシヒカリの普及促進に関する条例」が制定されました

平成25年9月19日の南魚沼市議会定例会において、議員発議により「南魚沼市コシヒカリの普及促進に関する条例」が全会一致で可決、制定されました。

本条例により、市、生産者、事業者、そして市民全員の心を一つにして「南魚沼産コシヒカリ」を発信していきましよう。

## 条例が提案された理由

- ・ 全国で、魚沼産コシヒカリを追い越そうと挑戦が続く中、南魚沼産コシヒカリの品質・ブランドをさらに向上させることが必要であること
- ・ 市民や各セクションで取り組むことで、市全体の一体感を醸成し、あわせて郷土愛を育むため
- ・ 食育に配慮しつつ、消費の拡大を図るため

## 南魚沼市コシヒカリの普及促進に関する条例

平成25年9月25日  
条例第38号

### (目的)

第1条 この条例は、世界に冠たるブランド農産物である南魚沼産コシヒカリ（以下「コシヒカリ」という。）の普及促進を図ることを目的とする。

### (本市の役割)

第2条 本市は、コシヒカリの普及促進に必要な措置を講じるよう努めるものとし、特に教育現場等においては、給食等にコシヒカリ又はその加工品を用いるように努めるものとする。

### (生産者及び事業者の役割)

第3条 コシヒカリの生産に携わる者は、高い安全性及び品質を確保すべく、生産技術等の向上及び良好な圃場環境の保全に努めるものとする。

2 コシヒカリに関わる事業者は、その普及促進に関し主体的に取り組むとともに、本市及び他の事業者等と相互に協力するよう努めるものとする。

### (市民の協力)

第4条 市民は、コシヒカリの普及促進に関する取り組みに協力するよう努めるものとする。

2 市民は、家庭においては栄養バランスに優れた食生活を心がけ、児童及び生徒等の体力、知力、学力の向上を図るべくコシヒカリの利用消費に取り組むものとし、特に朝食ではコシヒカリ又はその加工品を用いるよう努めるものとする。

### (南魚沼市コシヒカリの日)

第5条 本市は、コシヒカリの普及促進への関心と理解を深めるため、南魚沼市コシヒカリの日を定める。

2 南魚沼市コシヒカリの日は毎年、10月10日とする。

### 附 則

この条例は、平成25年10月10日から施行する。

# 第11回地域医療対策調査特別委員会7/26開催 …新たに市立となる六日町病院は？

## ● 魚沼基幹病院について(含現地調査)

27年6月の開院予定に向けて建設工事が順調に進んでいます。今年度中には地上9階の主要病院棟が立ち上がる進捗状況です。工事担当者から説明をいただき、特に先端技術を駆使した耐震、免震構造の設備を視察しました。

## ● 新市立病院について

基幹病院と同時に開院する、県から移譲され市立化される六日町病院。建設検討委員会が協議を重ね、特に医師の皆さんの強い変更要望（L字型の当初計画の間取りや動線の問題、工事仮囲い等による現県立病院への運営上の影響、設置場所が遠距離となるエネルギー棟の不合理性など）を受け、市は新たな隣接地の用地確保により、これに応えたという報告を前号でお伝えしました。

検討が進められ、この度の委員会で初めて設計図面が示されました。

当初の地下1階、地上3階の建設案から、面積の広い地上2階建ての設計となりました。高齢化をふまえ一階部分で移動がしやすくし、リハビリセンター、人工透析室の充実が特徴的です。

電子カルテによる待ち時間の短縮化、コンビニエンスストアの設置など利用者に使い勝手の良い案となっています。

## ● 魚沼地域医療連携ネットワークについて

魚沼地域全体の医療施設（病院や診療所、開業医、薬局）などを安全なネットワークで結び、患者の情報を全体で共有するシステムです。通称「うおぬま・米ねつ」と名付けられました。まずは医療機関がこのネットワークに参加してもらうこと、さらに患者が参加し込みし、米ねつとカードを持つ。このことで基幹病院など中核病院へ行っても、身近な診療所に行っても自分の診療情報をみながら診察が受けられる、地域の医療機関が一つの病院のようになることを意味します。協議会は全医療機関の参加による26年4月の運用開始を目指します。



魚沼基幹病院建設現場



○期日 平成25年7月30日

○調査内容

①消防庁舎の現状について

(含現地調査)

各庁舎の問題点を把握するため、現地にて調査を行いました。

湯沢消防署は、訓練塔が仮設パイプでつくっており、老朽化が激しく直営で部材の交換をしながら使用していました。駐車場の消雪、舗装の問題もありました。

消防本部では、統合型の発信地検索システムの導入で、指令が2〜3分ほど改善されました。この庁舎は女性職員用の個室・トイレ・シャワーを完備しており、女性職員が増えることを希望します。

大和分署でも訓練塔の問題がありました。問題点を解決し、救急業務に支障のないようにしていかねければなりません。

②大原運動公園の進捗状況について

(含現地調査)

第一期工事のスケジュールは、野球場建設の土木工事が降雪前までに、建築と電気の内工事は来年3月までに竣工予定となっています。

多目的グラウンドは、工事の入札



大原運動公園建設状況

を8月上旬に行い、その後準備に入っていく予定となっています。

③図書館の進捗状況について

(含現地調査)

ラ・ラを営業しながら平行で工事を行っているため、夜間作業もして進めています。調査時点の進捗率は、建築28%、機械設備40%、電気設備20%、全体で26%です。今後の予定は、看板工事や備品購入などを行い年度内に完成させ、来年6月1日からオープンを予定しています。

その他、地域コミュニティの活動状況について調査を行いました。

○期日 平成25年7月11日〜12日

○視察先及び調査内容

①長野県飯田市

飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例について。

太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、水力発電、バイオマス発電・熱の5種類の再生可能エネルギーを活用して、持続可能な地域づくりを目指す地元を取り組みを支援する全国初の条例が、平成25年3月25日に制定されたので調査を行いました。

平成24年7月からの再生可能エネルギーの固定価格買取制度を利用し、地域内で雇用が生まれ、お金が地域内で回る取り組みは参考になりました。引き続き最初の実例が成功するかどうか注目していきます。

②長野県茅野市

子ども・若者支援施設について

・「0123広場」平成14年1月オープン 面積1200㎡

「雨や雪の日でも思い切り遊べる広場」「子ども同士・親同士の出会いの場」、そんな声にこたえられる屋内の公園として建設されました。利用対象は主に0〜3歳の子どもと



0123広場 長野県茅野市

保護者で利用は基本無料です。1日平均65組の親子が利用していました。検討段階からの市民参加のあり方など参考になりました。

・「CHUKOらんどチノチノ」平成14年4月オープン 面積570㎡

中高生が楽しく集まりやすく「夢や希望をかなえる場」「中高生の居場所」としてつくられた施設です。中高生が主体となり、当初の設計段階から現在の運営・企画まで行っていました。スタジオ・ダンスルーム・食堂・学習室・多目的広場などが整備されています。1日平均60名が利用していました。

管内

産業建設委員会

先進地視察

○期日 平成25年7月29日

○調査内容

①南魚沼市観光協会の事業について

(含 現地調査)

現地調査後、平成24年度事業及び25年度事業概要について説明を受けました。

時代の変化と多様化する観光市場の中で、社会的信用度の向上や収益事業への進出を可能にして、組織の体質強化を図るため、平成25年8月を目標に一般社団法人として発足します。

②六日町街づくり株式会社経営状況について

第19期(平成24年度)の事業報告書及び決算書と第20期(平成25年度)事業計画書及び予算書の説明を受けました。

新図書館が平成26年6月オープン予定で工事が順調に進んでいます。新しい「ラ・ラ」は大型スーパー、内科・整形外科医院、日常生活の衣料品店等及び図書館の4つの柱で運営することになり、他にない新しい施設として生まれ変わります。

③国際大学との産官学連携事業について

国際大学及び明治大学と市が連携し、市内の企業・事業所が東京や海外進出するための支援を行います。

7月下旬に市内の企業・事業所に対し、アンケートの実施とプログラム実施への賛同を求める依頼書を送付予定です。その結果を受けて、共同研究ができそうな企業への提案を行っていきます。112か国、3,200人の修了者のネットワークが大いに期待されます。

その他、市道認定についてなどの調査も行いました。



南魚沼市観光協会

○期日 平成25年7月9日～10日

○視察及び調査内容

①福島県会津若松市「大河ドラマを活用した観光振興について」

会津若松市は観光を基幹産業として位置づけ、市民と一体となった施策を進めています。

基本施策は、「誘客宣伝活動と受入体制の充実」「地域資源を活かした観光の推進」「多様な観光資源を活用した広域観光の推進」です。

大河ドラマについては、「八重の桜プロジェクト」を立ち上げ「ハンサムウーマン 八重と会津藩」と銘打ち、事業を展開しています。

その中には、市報に切り取り式の絵はがきをつけ、市民一人ひとりが遠くの知り合いに発送するといったものや、誘客宣伝を、効果が高い首都圏や東北地方を中心にターゲットを絞り実施する、京都市と連携協定を結び互いの市でPRイベントを開催するというものがありました。

観光を基幹産業とするまちだけに、その取り組みは緻密でした。特に豊富な歴史資料を、上手に活かしていると思いました。

②福島県いわき市「災害復興計画と進行状況について」

・東日本大震災による被害状況  
死亡者446名、建物被害9万棟、原発事故による市外への避難者7、

602名、市外からいわき市への避難者23、755名等。

・復興に向けた取り組み

「被災者の生活再建」「生活環境の整備・充実」「社会基盤の再生・強化」「経済・産業の再生・創造」「復興の推進」の5つに分けて進められています。復興財源は国費が大部分を占めているが、マンパワーの部分でこなしきれない部分があり、技術系職員の採用や他自治体からの派遣職員によってしのいでいるそうです。

市街地では、交通機関や建造物の復興は進んでいました。視察した津波被害を受けた豊間薄磯地区は、がれきは撤去されていたものの、津波後のままの状態でした。

高台では同地区が移転する住宅街の建設が進められていました。



いわき市津波被害地

○期日 平成25年7月24日

○調査内容

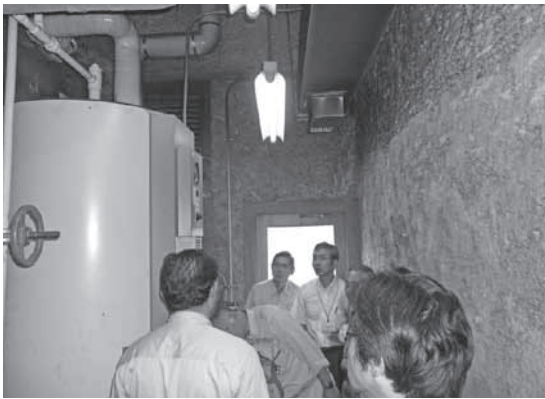
①魚沼地域医療連携ネットワークについて

米と英語の自分を意味する「my (マイ)」をかけて、愛称を「うおぬま・米ねっと」住民からは「米ねっと」と呼んでほしいとのこと。目的は医療安全と、診療情報の共有により医療従事者の負担軽減を図ることです。これに参加している医療機関であれば、これまでの診療情報や検査歴、投薬状況を見たいうえでの診察が受けられるようになります。また、救急搬送時にも活用でき、迅速な対応と救命率の向上にもつながります。住民の参加は申込制で、診療情報は秘匿性の高い通信を担保した専用回線でやり取りされます。平成26年4月からの稼働を予定しています。

②城内診療所について

(含現地調査)

前回に続き、2度目の調査です。診療所の歴史やこれまでの改修状況、これからの存続にふれて調査しました。現在地に移設新築されてから35年が経過し、施設の老朽化が進んで



城内診療所機械室

います。屋上の痛み、外壁の亀裂、給湯・空調設備の故障等に5千万円ほどかかっています。情報インフラもそれぞれ独立したシステムで、相互関連はありません。エレベーターも35年前から稼働していますが、今年度中に部品製造が中止され、今後診療所の運営や経営の方向性に合わせた判断が必要となります。診療所の方向性について、現在検討中であり、本年度中に決める予定です。

○期日 7月4日～5日

○視察先及び調査内容

①山梨県身延町早川町組合立飯富病院「地域医療と病院の経営改善」「在宅医療支援センター」について

飯富病院は、病床数87。介護老人保健施設と訪問看護ステーション、居宅介護支援事業者の介護保険事業所を併設しています。ルールに従った一般会計からの繰入れ6,000万円ほどがありますが、黒字経営であり、決算状況によって一般会計に戻しています。高齢化率が30～40%の中で、地域内に14コースの患者送迎バスを回し、更に12の診療所に週3回の出張診療も行っています。また、24時間の患者受け入れを行うために医師は病院近くに住むという、医師の意識の高さと「地域に必要な医療」を実践していると感じました。

在宅医療支援センターでは、テレビ電話機能を持つ携帯電話を活用した在宅健康管理システムによって情報の伝達や共有、患者に対する適切な処置を行っています。また、それぞれの役割を持った複数の医師（連携医、協力医、支援医）で在宅患者を診る「在宅ドクターネット」が構築されています。医

師が不足する地域では、効率的に感じました。

②山梨県富士吉田市「介護支援ボランティア事業」「がん対策」について

高齢者が一定の活動場所（特養ホーム、介護老人保健施設、デイサービスセンター等）で介護支援ボランティア活動を行うと、ポイントが加算され、そのポイントによって交付金がもらえる「介護支援ボランティア制度」を研修しました。「がん対策」では、早期発見につながるがん検診の受診率向上のため、土・日曜日や早朝受診、「がんパック」などの受診しやすい体制づくりと併せ、きめ細かな「広報活動」も実践していました。



富士吉田市福祉ホール

## その他全会一致で可決した議案

- 平成25年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 平成25年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 平成25年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 平成25年度南魚沼市内診療所特別会計補正予算（第1号）
- 平成25年度南魚沼市下水道特別会計補正予算（第1号）
- 平成25年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第1号）
- 市道の路線変更について
- 財産の取得について（可燃ごみ処理施設バグフィルター用触媒ろ布）
- 人権擁護委員の候補者の推薦について（高橋文子氏）
- 大和庁舎転倒事故に係る損害賠償の額を定め和解することについて

## 意見書 提出しました

- 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書
- 消費税増税の慎重な判断を求める意見書
- 学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書
- 地方税財源の充実確保を求める意見書
- 県立武道館の南魚沼市設置を求める意見書

	菅 晶	桑 美	林 茂	鈴木 一	塩谷 寿	小澤 実	黒滝 松	山田 勝	今井 久	佐藤 剛	寺口 友	中沢 一	関 常	井上 智	樋口 和	関 昭	腰越 晃	阿部 俊	牧野 晶	阿部 久	牛木 芳	中沢 俊	岩野 一	岡村 松	若井 雅	松原 道	
	歩 晶	市 美	歩 茂	歩 一	歩 寿	南 実	南 松	市 勝	市 久	市 剛	市 友	南 一	南 常	南 智	南 和	市 昭	市 晃	市 俊	市 晶	市 久	市 芳	無 所	日 松	日 雅	南 道	南 道	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	
	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	
	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 9月定例会の全議決結果

表中の記号について

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(※議長は議案裁決に加わりませんが、同数の場合は議長裁決となります。)

氏名	会派	採決結果
----	----	------

## ◎議案

延滞金の割合の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	
南魚沼市図書館条例の制定について	可決	
大原運動公園条例の制定について	可決	
南魚沼市屋外体育施設条例の一部改正について	可決	
浦佐体育施設条例の一部改正について	可決	
大和野球場条例の一部改正について	可決	
すばーく塩沢条例の一部改正について	可決	
南魚沼市子ども・子育て会議条例の制定について	可決	
南魚沼市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	可決	
南魚沼市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決	
平成24年度南魚沼市一般会計決算認定について	認定	
平成24年度南魚沼市国民健康保険特別会計決算認定について	認定	
平成24年度南魚沼市介護保険特別会計決算認定について	認定	
平成24年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定	
平成24年度南魚沼市城内診療所特別会計決算認定について	認定	
平成24年度南魚沼市下水道特別会計決算認定について	認定	
平成24年度南魚沼市水道事業会計決算認定について	認定	
平成24年度南魚沼市病院事業会計決算認定について	認定	
平成25年度南魚沼市一般会計補正予算(第2号)	可決	
平成25年度南魚沼市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	
工事請負契約の締結について(大原運動公園多目的グラウンド改修工事)	可決	

## ◎請願・陳情

消費税増税を中止する意見書の提出を求める請願	不採択	
「学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する陳情	採択	

## ◎議員発議案

南魚沼市コシヒカリの普及促進に関する条例の制定について(提出者:産業建設委員長)	可決	
県立武道館の南魚沼市設置を求める意見書の提出について(提出者:関昭夫)	可決	
消費税増税を中止する意見書の提出について(提出者:岡村雅夫)	否決	
消費税増税の慎重な判断を求める意見書の提出について(提出者:塩谷寿雄)	可決	
学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書の提出について(提出者:牛木芳雄)	可決	
地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について(提出者:井上智明)	可決	
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書の提出について(提出者:鈴木一)	可決	

## 南魚沼市議会 新議員決まる

平成25年10月20日に執行された南魚沼市議会議員選挙で、次の方が当選されました。

(定数26人、獲得票順)

氏名	年齢	地区	得票数
中沢 一博	59	五日町	1,799
小澤 実	57	茗荷沢新田	1,516
中沢 俊一	63	寺尾	1,505
黒滝 松男	62	上出浦	1,446
塩谷 寿雄	38	大里	1,417
塩川 裕紀	42	五日町	1,393
阿部 久夫	63	長崎	1,372
今井 久美	61	津久野	1,346
佐藤 剛	60	浦佐	1,322
清塚 武敏	54	一村尾	1,305
岡村 雅夫	62	大崎	1,256
関 常幸	64	浦佐	1,246
樋口 和人	53	坂戸	1,213
林 茂男	46	石打	1,157
田村 眞一	53	島新田	1,130
寺口 友彦	58	君沢	1,126
若井 達男	65	新堀	1,123
永井 拓三	35	六日町	1,069
牧野 晶	40	関	1,061
阿部 俊夫	64	君帰	1,057
腰越 晃	59	五郎丸	1,051
鈴木 一	60	樺野沢	1,033
山田 勝	57	九日町	957
桑原 圭美	40	塩沢	953
勝又 貞夫	59	美佐島	950
笛木 晶	67	栃窪	909

※正副議長、各常任委員会構成、会派等は平成25年12月1日発行予定の議会だより臨時号で掲載します。

## 新潟県市議会議長会を開催しました

平成25年8月29日(木)、当市のホテルグリーンプラザ上越を会場に、新潟県市議会議長会秋季定期総会を開催しました。新潟県内20市の議長、副議長が集まり、国や県に提出する要望事項に対して検討と意見交換を行いました。



その中で、南魚沼市などが提出した「上越魚沼地域振興快速道路の整備促進等について」を含む15の議案が可決し、要望書として提出することが決定されました。

### 提出議案

北陸新幹線の建設促進及び在来線の利便性の維持・向上について
上越新幹線及び北陸新幹線と信越本線との確実性・速達性の高い接続の実現について
上越魚沼地域振興快速道路の整備促進等について
日本海沿岸東北自動車道の整備促進について
ほか11議案

来賓として花角英世新潟県副知事と井口一郎南魚沼市長から祝辞をいただきました。



## 編集後記

平成25年9月議会は、任期最後の議会ということもあり、26名の議員のうち22名が一般質問を行いました。この4年間最後の各常任委員会の管外調査もあったことから、今回は通常より2ページ増の編集です。

市民の皆様から、いろいろなアドバイスをいただきながら、読みやすい、わかりやすい「議会だより」を目指して4年間進めてきたつもりです。読んでいただいている市民の皆様には、「ここが知りたい」「もっと詳しく」というところもあったと思いますが、市報とは視点が違う議会サイドからの広報を心がけてきました。不足があった部分は、新たな編集委員会の課題として託したいと思います。4年間、ご愛読いただき本当にありがとうございました。

平成25年10月22日

議会広報編集委員長

佐藤 剛

## 12月議会 予告

12月に市議会定例会を開催します。

日程のお問合せは  
議会事務局 (☎773-6650) へ。

### 議会広報編集特別委員

委員長	佐藤 剛
副委員長	小澤 実
委員	林 茂男
委員	鈴木 一
委員	黒滝 松男
委員	腰越 晃
委員	山田 勝
委員	岩野 松